

1888	明治21. 1.	県会議員の半数改選選挙(⑦57)
	2. 1	大隈重信の外相就任を契機に、県下の大同団結の動き終焉に向かう(⑦29)
	2.15	西潟為蔵、首相伊藤博文あてに辞職勧告書を送る。4月、横浜から帰郷の途中、拘留される(⑦28)
	2.17	「新潟新聞」に初めて連載小説(坪内逍遙作「無敵の刃」)が登場する(⑦635)
	2.18～19	山口権三郎ら、長岡町で殖産懇談会を開催、県人による石油会社設立が發起される(⑦242)
	3.13	西頸城セメント会社設立される(⑦682)
	3.31	県立新潟医学校廃止。付属新潟病院は区立病院として存続する(⑥647 ⑦616)
	4.15	上越立憲改進黨解党。新たに政友同盟会を高田町において結成する。会長室孝次郎(⑦29)
	4.25	市制・町村制が公布される(⑥835)
	4	高田町で旧自由派会合し、求友会(非政社組織)を結成。10月21日規約を決定し、会長に八木原繁祉を選出する(⑦29)
	4	高田にキリスト教系の高田女学校、仏教系の高陽女学校が設立される(⑦643・645)
	5. 3	県、市町村制実施取調委員会を発足させ、6月から町村合併に着手する(⑥836)
	5.1	内藤久寛ら、日本石油会社(資本金15万円)を刈羽郡石地村に設立する(⑦242)
	5	頸城郡青海町に越後セメント会社が設立される(⑦683)
	6	安進社と新潟汽船会社の後身信江汽船会社が合併、川汽船会社安進社が発足する(⑥491)
	7.9～10	県内の大地主・米商人ら、新潟市で米質改良会を開催。改良組合の結成と乾燥改良法の実施、および農業組合規則発布を知事に建議することを決める(⑦118)
	7	後藤象二郎県下を遊説。9日高田町、10日柏崎町、11日長岡町、13日新潟区、16日新発田町、18日水原町、19日中条町で懇親会を開催し演説する(⑦30)
	7.2	日本赤十字社新潟地方部が県庁内に設置され、看護婦要員の募集を開始する(⑦362)
	7	古志郡千手町小坂松五郎、北越石油会社を開業する(⑦243)
	7	県立明訓学校廃止され、私立学校となる(⑥432)
	7	県、「米穀改良組合準則」を公布。以後、県内各地で組合が結成され、米質改良に取り組む(⑦118)
	8	日本坑油会社、中蒲原郡塩谷村に支社を置き操業する(⑦244)
	9.25	東北日報創刊。旧自由派にとって初の機関紙(⑦32)
	10. 8	改進黨、非政社組織の同好会を組織。11月3日新潟区の北越興商会堂で発会式を挙げる(⑦34)
	10.23～25	旧自由派有志、新潟区で東北15州委員会を開催する(⑦32)
	11	旧自由派の越佐同盟会組織される(⑦32)
	12	県会、23線道路開削計画のうち、未着工の19路線の起工を建議する(⑦67)
	12	直江津～軽井沢間の鉄道が開通する(⑥693)
		◇巨大地主市島家、小作証文規定を改訂、新たに米俵の俵装・容量・播種品種等の項目を設定する(⑦119)
1889	明治22. 2.11	大日本帝国憲法が公布される(⑥847 ⑦37)
	2～3.	県下各地で憲法発布祝賀式・憲法奉読式が挙行される(⑥848 ⑦38)
	3. 5	改進黨、同好会を基盤とする政社組織「越佐議政会」を結成する(⑦36)

	3. 6	県, 新市町村の区域と改称市町村名および数を告示する。町村数4360から815に減少する(⑥845)
	3.21~23	旧自由派, 新潟区で集会をもち, 越佐同盟会の政社化を議決する(⑦32)
	4. 1	市制・町村制が施行される。新潟区に市制を敷く。人口43, 021人(⑥848・853⑦544)
	4	佐渡鉱山, 宮内省に移管され, 御料局佐渡支庁となる(⑥479)
	4	県の警察体制が警察本部・17警察署・33分署・12派出所・259巡査派遣所となる(⑥652)
	7. 5	西潟為蔵ら大同派幹部, 新潟市で会合し条約改正中止建白運動を起こすことを決める(⑦40)
	7.2	魚沼3郡と東頸城郡の大同派, 4郡有志懇親会を催し, 選挙に向け活動を開始する(⑦43)
	7	県, 産婆組合を各郡市に設置し, 旧産婆を助産術講習会に出席させる(⑦361)
	8.17	西潟為蔵ら大同派幹部, 条約改正中止建白書を元老院に提出する(⑦40)
	8.26	大同派, 条約改正中止を訴える演説会を新潟市・高田町で開催。多数の聴衆を集める(⑦40)
	8	上越求友会, 元老院に条約改正中止建白を行う(⑦40)
	9	この月から10月にかけて改進黨, 条約改正案断行の建白運動を展開する(⑦41)
	10.3	中蒲原郡割野・嘉瀬・酒屋・和舞村の地主・小作人・自作人ら, 信阿米穀改良組合を組織し, 規約を定める(⑦118)
	10	西蒲原郡青年有志・南蒲原郡有志・刈羽郡有志, それぞれ条約改正中止建白を行う(⑦40)
	10	県議佐藤良太郎, 南魚沼郡を中心として国権回復同盟会(大同派)を結成する(⑦42)
	11.22	南魚沼郡地方に, 越南改進黨が結成され, 国権回復同盟会と対抗する(⑦43)
	11	中越倶楽部, 大同派の衆議院選挙5区の組織として結成される(⑦43)
	12. 6	「娼妓貸座敷営業廃止ノ建議」が県会に提出される(⑦370)
	12.26	千田貞暁(広島県知事), 新潟県知事となる(⑦195)
	12	県会, 相川町の郡役所・諸官衙の河原田への移転を決議する。以後, 明治26年末県会まで毎年決議される(⑦73)
	12	安進社, 中ノ口川航路開始。明治36年には白根曳船汽船会社の白根丸も就航する(⑦236)
1890	明治23. 2.23	吉川武成・大塚良城, 新潟市で私設水道事業をはじめる。翌年経営不振のため廃止となる(⑦547)
	2.下	県会議員の半数改選選挙を挙行する(⑦43・58)
	4. 7	大同派・改進黨の対立激化を背景に, 「議長脅迫事件」が県会で起こる(⑦43・58)
	4.上	新潟市内の米価(上白米)高騰, 東京の米価を上回る(⑦307)
	4.17	米価高騰をきっかけとして, 西頸城郡能生町で群衆500人が米穀商を打ちこわす(⑦45・307)
	4.25	内務大臣, 「議長脅迫事件」を理由として県会の解散を命じる(⑦59)
	5.31	大同派の非政社同好会, 上越大同派の求友会, 警察より政社と認定される。同好会, 6月15日政社化を決定する(⑦45)
	6.1	貴族院多額納税議員の互選が行われ, 市島徳次郎当選する(⑦46)
	6.15	新潟米商会所, 7月末までの立会を中止する(⑦309)
	6.26	柏崎町で, 細民ら500人が米穀を移出しようとした回漕店, 商店などを打ちこわす(⑦45・309)
	6.28	佐渡夷町の細民たちが, 米穀の津止めに反対した回船問屋を打ちこわす(⑦45・310)

	6.29	7月1日にかけて、佐渡で相川暴動が起きる。襲撃を受けた回船問屋・米商・富豪は14か町村54戸、暴動参加者は、2000人にのぼる(⑦45・311)
	7. 1	第1回衆議院議員総選挙。大同派10, 改進黨3人当選する(⑦45)
	7	県会議員全員改選選挙。大同派圧勝する(⑦59)
	9.14	同好会解散(⑦46)
	10.13	県、職制改正を行う。内務部(第一～四課), 直税署, 間税署, 警察部(警務課・保安課), 監獄署となる(⑥634)
	11	新潟県尋常師範学校で「教育勅語」謄本交付式が行われる(⑦601)
	12. 9	求友会分裂する。立憲自由党支持派が北辰自由党を結成(⑦48)
	12.21	山際七司・八木原繁社ら, 国民自由党を結成(⑦47)
1891	明治24. 2. 5	笠原克太郎・渡辺謙蔵ら, 高田町で集会を開き(6日まで), 非地価修正会を結成, これを機に, 県下各地で非地価修正(同盟)会がつくられる(⑦54)
	2.23	中頸城郡の中川源蔵ら1839人, 貴・衆両院に地租軽減を請願する(⑦55)
	3.2	県, 1等4線, 3等46線の県道を制定する(⑦563)
	3	県, 農学校を廃止する(⑦63)
	4. 9	籠手田安定(鳥取県知事), 新潟県知事となる(⑦64・195)
	4	川上善兵衛, 頸城郡岩の原葡萄園に洋種ブドウを植え, 明治26年9月ブドウ酒の醸造をはじめる(⑦517)
	4	日本石油, 三島郡尼瀬油田で綱掘式機械による削井に成功する(⑦245)
	6.17	上越の非地価運動関係者と県議が中心となり, 新潟県非地価修正会を結成する(⑦55)
	7	関矢孫左衛門, 「北越殖民社申合規約」を制定, この年弥彦神社から北海道野幌に「野幌神社」を分祠する(⑥736)
	8.15	県, 県内各河川の河口付近への常置網設置を制限し, 鮭・鱒漁の保護・育成をはかる(⑥767)
	9. 9	大竹貫一が中心となり, 刈谷田川治水有志会を開く(⑦70)
	9.16	新潟市で鉄道問題協議会が開催される(⑦230)
	9.下	越佐同盟会の国家的自由主義派(国権派), 越佐同盟会機関紙「東北日報」を自派の掌中に収める(⑦49)
	10.16	越佐間に海底電線が架設され, 寺泊～相川電信局間で交信がはじまる(⑦580)
	10.19	中蒲原郡五泉・小須戸・白根町, 西蒲原郡巻町の総代ら, 小須戸線の着工を知事に請願する(⑦76)
	11.13	中蒲原郡林村の有志, 小須戸線のルート変更を知事および常置委員に請願する(⑦76)
	11.15	中越倶楽部, 三島郡善高村で大河津分水実現のための集会を開く(⑦71)
	11.2	越佐同盟会の自由派, 機関紙「自由新報」を創刊する(⑦49・76)
	11.24	中越倶楽部, 新潟市で分水再興協議会を開催する(⑦71)
	11.27	中蒲原郡・南蒲原郡の信濃川沿岸部落総代, 県に分水事業の再興を請願する(⑦71)
	11	県, 伝染病予防のために, 「市町村衛生要領」を發布する(⑦551)
	12.26	東頸城郡郡役所の安塚町から大島村への移転を求め, 郡下20か村代表が県に請願する(⑦73)
1892	明治25. 1.21	新潟市で自由・改進黨両派の有志懇親会開催。第2回衆議院議員総選挙へ向けての提携, 民党候補者擁立を協議する(⑦50)
	1.25	越佐同盟会から脱会した国家的自由主義派, 国権党を結成する(⑦49)
	2.15	第2回衆議院議員総選挙。第1区, 第4区で自由・改進黨両派の提携が成功。自由派7, 国権派1, 改進黨5人が当選する(⑦50)
	3.29	県, 「学齡児童就学規則」を制定し, 就学の督促を強める(⑦599)

		3	県会議員半数改選の選挙(⑦59)
		5	西蒲原郡巻町堀山新田に日本最初の排水ポンプが設置され、以後、県内水腐地に揚水機の導入がすすむ(⑦500)
	7. 1		新潟県立尋常中学校が開校する(⑦604)
	8. 1		県、「水利組合条例」を公布(⑦480)
	11. 8		県常置委員堀川信一郎、小須戸線路線変更にからむ収賄容疑で拘引される。さらに同月19日に県会議長稲岡嘉七郎も拘引される(稲堀事件)(⑦59・75)
	11.23		新潟新聞、社説「敢て県会議員の総辞職を促す」を掲げる(⑦78)
	12.11		臨時県会、正副議長、常置委員選出をめぐり紛糾。議事中止、23日内務大臣の命令により解散となる(⑦79)
			◇新潟県の人口、この年まで全国一を保つ。明治26年、東京府に次ぎ二位となる(⑦7・193)
			◇北蒲原郡500町歩地主五十嵐家、小作米の品評会制度を設ける(⑦119)
			◇養蚕技術の伝習を目的に、北蒲原郡聖龍村に養源社が設立される(⑦260)
			◇北海道への移住者が1410戸・4733人に達する。以来、昭和初年まで毎年千数百戸・5000人前後が移住する(⑥730)
1893	明治26. 2. 8		県会議員総選挙。稲堀事件の影響で自由派惨敗、改進黨が初めて単独過半数となる(⑦80)
		2.18	1市5郡町村連合会、信濃川堤防改築工事費の負担分を地方税に移すため、県会・知事に建議・陳情することを決議する(⑦82)
		3.29	宝田石油株式会社、会社組織として改組・発足する(⑦245)
	4. 1		直江津～上野間の鉄道(明治28年から信越線)が全通する(⑦219・228)
		5.15	越佐同盟会解散。自由党新潟支社(後に支部)の結党式を挙げる(⑦52)
		9.18	県会、信濃川築堤工事の設計変更を求め、「信濃川築堤工事革新ノ建議」を採択、10月9日井上内相に陳情する(⑦83・85)
	10. 1		新潟米商会、新潟米穀取引所に改組される(⑥832⑦218)
		10	北蒲原郡赤谷村で鉄鉱石採掘事業はじまる。鉱区は明治32年八幡製鉄所を買収される(⑦692)
		10	新潟市で第1回蚕糸業大会開催される(⑦268)
		10	内務省技師古市公威、信濃川流末改修工事計画を立案する(⑦481・567)
		11.12	自由派県議、県会開催前日のこの日に集会、県会において、初めて党議制を採用する(⑦86)
		11.24	中越倶楽部、長岡町で機関紙「平等新聞」を刊行する(⑦52)
		11	師範学校音楽教師石原重雄、新潟音楽会を組織し、音楽指導者の養成にあたる(⑦821)
		12.28	国権派、大日本協会新潟支部結成。対等条約の実現・外国人の内地雑居尚早を主張。29日政府の手で解散させられる(⑦53)◇原宏平、新発田の宝積院で1日1000首の和歌を詠む(⑦633)
1894	明治27. 3. 1		第3回衆議院議員総選挙。自由派5、国権派2、改進黨6人当選する(⑦53)
		3	信濃川堤防改築工事費が全額地方税負担となる(⑦83)
		7.12	日本赤十字社新潟支部発会する(⑦363)
		7.25	新潟新聞社、「遠征兵士慰労義金募集広告」を発表し、義損金募集の大キャンペーンを行う(⑦144)
	8. 1		日本、清国に宣戦布告。日清戦争はじまる(⑦140)
		8.23	籠手田知事、新潟市の富豪50人を県庁に招き、軍事公債への応募を要請する(⑦145)
	9. 1		第4回衆議院議員総選挙。自由派2、改進黨9、国権派2人当選する(⑦54)
		11.11	北辰自由党と求友会が合同し、頸城自由党を結成する(⑦53・179)

	11.2	第17回通常県会で、第2師団長と新発田第16連隊長に対する慰問決議可決する(⑦142)
		◇県、「蚕種取締規則」を公布。蚕種検査所を設置し、蚕種検査の実施と蚕種製造・販売に鑑札制を導入する(⑦263)
		◇労働者の相互扶助的組織である佐渡労働親和会が結成される(⑦381)
1895	明治28. 1.20	県民兵士、山東半島に上陸。威海衛攻撃に参加する(⑦141)
	3.11～12	県会議員選挙(⑦189)
	3.22	新潟県農事試験場が設置される(⑦506)
	4.23	三国干渉。政府、5月4日遼東半島放棄を決定する(⑦149)
	6.16	日本石油会社支店新潟鉄工所が設立される(⑦250・290)
	6	県内の貯蓄銀行の最初として直江津積塵銀行設立される(⑦212)
	7. 3	自由党新潟支部、遼東半島還付問題で政府問責を決議、実行を党本部に働きかける(⑦179)
	7.26	県下の自由・改進黨・国権党系の5新聞が歩調をそろえて「遼東還付責任論」掲載。政府、5紙に発行停止を命じる(⑦150)
	8.17～18	改進黨・国権両党が「新潟県下有志大懇親会」を開き、遼東半島還付反対提議を採択する(⑦150)
	9. 1	新潟県農会の発会式が催される(会長は市島徳次郎、明治31年11月県の「農会規則」により県の認可を、明治33年7月政府の「農会令」により国の認可を受ける)(⑦505)
	9	新潟貯蓄銀行設立される(⑦212)
	10	県民兵士、台湾栃寮に上陸、約6か月間台湾各地を転戦する。風土病が多発、戦病死者続出する(⑦141)
	11. 1	改進黨と国権派が合同し、越佐会を結成する(⑦150・177)
	11.13	新潟市に天理教新潟支教会が設置される(⑦651)
	11	佐渡赤泊村の田辺九郎平、赤泊～寺泊間で汽船の運航を開始(⑦571)
1896	明治29. 2. 6	浅田徳則(長野県知事)、新潟県知事となる(⑦195)
	3.14	信濃川流末改修工事(国営)がはじまる。明治36年12月完工(⑦226・567)
	3	佐渡3郡を統合して佐渡郡とし、三島郡間瀬村を西蒲原郡に編入する法律案が国会を通過、翌年施行される(⑦152)
	5.31	越佐会解散して、進歩党新潟支部が発足する。ついで9月6日進歩党頸城支部が発足する(⑦178)
	7	大雨のため信濃川、阿賀野川など各地の有力河川が1271か所で決壊、大水害となる(⑦161)。水戸留工事の不十分な地域は、9・10月にも再破堤し、再び冠水する(⑦163)
	7.24	県、常置委員会急施会を開き、水害に対する緊急措置を協議、被災民への施米確保のため外米購入等を定める(⑦162)
	7.25	小阿賀野川破堤による湛水をめぐり、中蒲原郡日本岡村・松島村周辺の農民3000人、竹槍や爆薬を携え、にらみあう(⑦320)
	7.28	県、市町村役場に減水後の家屋等の乾燥、消毒など伝染病対策の実施を命令する(⑦162)
	7.28	県内務部、「米価を濫りに騰貴せしめ或は米穀を他地方に輸出する等」のことがないよう業者に指示する(⑦330)
	7	この月から11月にかけて、刈羽郡を中心に県下一帯で赤痢が大流行する(⑦363)
	8.2	臨時県会が開かれ、復旧費・水害救助費等の支出、復旧工事費の全額国庫補助への尽力等を決議する(⑦163)
	8.23	県選出の代議士・県議が水害善後策有志会を組織、国庫補助獲得と水害地の地租免除に向けて活発な活動を申し合わせる(⑦163)
	9.11	第2回水害善後策有志会開催。政府に地租特別免除を陳情することを決定する(⑦164)
	9.16	新潟県治水会誕生する(⑦321・476)
	9.16	佐渡鉱山が三菱合資会社に払い下げられる(⑦372)

	9.18	新潟商業会議所設立認可される(⑦224)
	9	新潟硫酸株式会社創立される(⑦674)
	10.23	西蒲原郡はじめ6郡140市町村,「非常水害に付地租特別免除請願」を蔵相に提出する(⑦164)
	11.1	長岡銀行が開業する(⑦209・210)
	11.12	中蒲原郡村松町に歩兵第30連隊が設置される(⑦585)
	12.21	県会,「信濃川治水方針ニ関スル建議」を採択,大河津分水を含む抜本的治水対策の樹立を政府に要求する(⑦200・321・483)
	12	進歩党新潟支部評議員坂口仁一郎,自由党新潟支部幹事高岡忠郷,それぞれ脱党,明治31年3月中蒲原郡倶楽部を結成する(⑦179)
	12	第四国立銀行,新潟銀行に改組される(⑦211)
		◇水害の影響をうけ,稲作は前年比2割6分減の不作となる(⑦321・330)
1897	明治30. 1. 1	明治23年公布の郡制が新潟県に施行され,郡は初めて自治団体となる(⑦151)
	1~2.	初めての郡会議員選挙が行われる。町村会選出議員と大地主互選議員による郡会議員誕生(⑦153)。進歩党が圧勝する(⑦155)
	3. 5	新潟の斎藤喜十郎ら,新潟商業銀行を設立する(⑦212)
	4. 1	明治23年公布の府県制が新潟県に施行される(⑦151)
	4. 7	勝間田稔(宮城県知事),新潟県知事となる(⑦195)
	4.16	新府県制による初めての県会議員選挙が行われ,進歩党が圧勝する(⑦155・181)
	6	北越銀行同盟会結成される(⑦218)
	7.1	新潟新聞,この日から「所謂社会問題」と題する論説を連載,労働者,小作人の救済を講じる(⑦327)
	7	7~9月にかけて3回にわたり大規模な洪水が県下を襲い,信濃川はじめ有力河川があいついで決壊(⑦316)。10月には虫害も加わり稲作大減収となる(⑦168・321・331)
	8. 9	西蒲原郡新貝村,加奈居村で,洪水による湛水排除をめぐり,殺人・傷害事件起こる(⑦320)
	9. 1	このころ赤痢猛威を振う。県が赤痢に関して諭告を出す(⑦352)
	9.初	県内の米価,急騰しはじめ,東京・大阪の米価を上回る(⑦332)
	9.2	新潟市役所に,同市貧民名義で米の安売りを要求,入れられない場合には打ちこわしを予告する「脅迫的書面」が届けられる(⑦333)
	10. 6	米価高騰を機に,中蒲原郡小須戸町で米安売りを要求する騒擾事件が起こる(⑦334)
	10.16	新潟新聞,県下各水害地の窮民が,地主に対し,「安米売渡し又は救助方を迫り,甚だ不穩の模様あり」と報じる(⑦337)
	11.11	沼垂町栗ノ木川鉄橋,爆弾により破壊される(北越鉄道爆破事件)(⑦232)
	11.2	7月以来の水害に対し,県会が水害復旧に関する建議を採択する(⑦167)